

意見募集対象 14事業案

部局名	事業案名	事業案概要	取組内容	期待される効果	事業費 (千円)	県民投票数 (順位)
1 政策企画部	三重県誕生150周年記念事業	三重県誕生150周年を迎えるにあたり、三重県の素晴らしさや郷土への思いを表現する作文・フォト・絵画などのコンクールを開催するとともに、それらを披露し、三重県の未来につなげていくための機会として記念イベントを開催します。	○作文・フォト・絵画等のコンクール 「私の好きな三重県」、「未来に残したい三重県」といったテーマを設定し、それらを表現する作文・フォト・絵画などの作品を募集します。 ○記念イベントの開催 コンクールに応募のあった作品を披露するとともに、作品を通じて、三重県の未来に向けた県民の想いを共有する記念イベントを開催します。	先人が築き上げてきた150年の歴史の歩みや地域の魅力を再発見、再認識することにより、郷土への愛着や誇り(シビックプライド)を醸成し、三重の未来の創造につなげていきます。	10,000	167票(9位)
2 医療保健部	ラッピングカーを用いた動物愛護普及事業	動物愛護推進センター「あすまいる」において、TNR <sup>※</sup> の支援として啓発兼搬送車や不妊去勢手術を実施する際の使用機器を整備することにより、飼い主のいない猫の減少に向けた取組と犬・猫の譲渡を推進し、令和4年度以降続く犬・猫の殺処分ゼロの継続をめざします。 ※TNR…飼い主のいない猫を捕獲し、不妊・去勢手術をして元の地域に戻し、一代限りの命を見守る地域での活動	○TNR等の県が実施する動物愛護事業の普及啓発等 ・県が実施する動物愛護事業や動物愛護に関する啓発用マグネットシートを作成し、導入する啓発車にラッピングとして施し、広報活動を展開します。 ・啓発車としての用途のほか、譲渡対象犬・猫やTNRを行う際の搬送への活用を行います。	・ラッピングカーでの県内移動やイベントブース等での展示といった活用によって、動物愛護事業に係る啓発活動の拡充が図れます。(取り外し可能なマグネットシートでのラッピングによりTPO(時期や局面)に応じた啓発を想定) ・啓発活動を拡充しながら、TNRや犬・猫の譲渡を推進することにより、令和4年度以降続く殺処分ゼロの継続に繋がります。 ・災害時等有事の際にはペット関連物資の輸送等にも活用します。	6,000	80票(14位)
3 環境生活部	「公文書」から見る三重の歩み展示事業	三重県誕生150周年に際して、県の指定文化財となっている明治期の三重県行政文書の展示を、それに関連した博物館の実物資料の展示とコラボレーションする形で行い、県民の皆さんに我が県の歴史を知ってもらうことで、地域の誇りや一体感を醸成します。	○三重県誕生に関する資料の展示 ・明治期における版籍奉還、廃藩置県、三重県誕生に至るまでの経緯に沿った歴史の公文書の展示を実施 ○博物館が所蔵する実物資料とのコラボレーションによる展示 ・併せて、当時の社会情勢や人々の暮らしに関連した文書についても博物館が所蔵する実物資料と連携(コラボレーション)する形で展示を実施	・県民の皆さまに郷土の歴史を知っていただくことで、地域の誇りや一体感を醸成します。 ・実物資料とのコラボレーション展示を行うことで、歴史公文書をより身近に感じてもらうことにつながります。	250	160票(10位)
4 環境生活部	みんなで守る!こども性暴力根絶プロジェクト推進事業	こどもにとって身近な存在である学校等におけるこどもに対する性暴力の防止、早期発見・早期支援に必要な知識や技術をつめこんだハンドブックの更なる活用を進めるとともに、こどもやこどもの周囲の大人の方々に知ってほしい性暴力防止に関する情報の広報及び性暴力防止に関する啓発を行うことにより、こどもが安全で安心して暮らせる社会の実現をめざすとともにこどもの尊厳を守ります。	○学校現場でこどもを守る!学校現場におけるこどもに対する性暴力の早期発見・早期対応の推進 ・2022年(令和4年)に作成した「学校現場における児童生徒間の性暴力対応支援ハンドブック」を性暴力をめぐる最新の社会情勢や「三重県性暴力の根絶をめざす条例」の内容をふまえた改訂を行い、こどもにとって身近な存在である学校などで活用いただけるよう取り組みます。 ○みんなでこどもを守る!こどもや周りの大人の方にも知ってほしい”性暴力の予防と早期発見・早期支援について”の広報啓発 ・「性暴力ってどんなもの?」「プライベートパーツってどの部分?」「みえ性暴力被害者支援センター よりこ”ってどんなところ?”など性暴力の予防や早期発見・早期支援のためにこどもや大人の方々に知ってほしい内容に関する広報啓発に取り組みます。	・こどもにとって身近な存在である周囲の大人や学校等が性暴力の防止等に必要な知識や技術を得ることによって、こどもを性暴力から守ることにつながります。 ・万一こどもに対する性暴力が発生した場合には、これを見逃すことなく早期に発見し、早期に支援することで、被害からの速やかな回復につながります。 ・これらを促進することにより、こどもの尊厳を守るとともに、こどもが安全で安心して暮らせる社会の実現につながります。	5,999	302票(2位)
5 環境生活部	オンラインで広げる日本語学習と支援者育成事業	外国人住民の方が、居住地域に限らず日本語を学べる環境を整備するため、県域でのオンライン日本語教室を運営します。 あわせて、学習支援者に対するオンライン研修を実施し、支援の質を高めることで、安全に安心して生活できる多文化共生社会の実現を目指します。	○オンライン日本語教室の運営 ・日本語教室の空白地域や、家庭・仕事の事情で既存教室に参加できない層に対し、オンラインによる学習機会を提供 ・運営ノウハウを蓄積し、市町での教室展開や支援に活用 ○学習支援者向けオンライン研修 ・増加する外国人住民等の多様な学習ニーズに対応できるよう、学習支援者のスキルアップ研修をオンラインで実施 ・支援者の担い手確保や育成につなげ、持続可能な学習環境を構築	・日本語学習機会が不足している外国人住民に対して、居住地域を問わず参加できる日本語学習の環境が提供され、生活や就労に必要な日本語習得の促進につながります。 ・オンライン研修により、場所にとらわれず支援者が参加できるようになり、支援者の質の向上や県域で質の高い支援の提供につながります。 ・オンラインによる日本語学習や支援者研修の実施を通じて、地域による学習や支援の機会の格差が是正され、多文化共生の推進につながります。	8,476	186票(7位)
6 農林水産部	若者世代にささる地産地消推進事業	次世代を担う若者世代の三重県の農林水産物や県産農林水産物への理解と関心を高め、若者世代への地産地消を推進するため、学生などによる地域の生産物を生かしたメニューの開発、SNSを活用した“推し活”など、若者ならではのアイデアを取り入れて県産農林水産物の活用を図るための事業を行います。	○地物一番“推し農林水産物”SNSキャンペーン ・県内高校生が授業や課外活動等において地元農林水産物についてショート動画等を制作し、作品コンテストを実施します。 ・若者に影響力のあるインフルエンサー等によるSNSを活用した情報発信やハッシュタグキャンペーンなどを実施します。 ○学食等における地産地消推進 ・地産地消をテーマにしたレシピを学生等と連携して開発し、学食等での提供やイベント実施など、県産農林水産物の活用促進を図ります。	・高校生や大学生等が学習の一環として取り組むことをきっかけとして、次年度以降も継続的に取り組めるテーマとして定着することが期待されます。 ・SNS等を活用したキャンペーンを展開することにより若者世代の県産農林水産物への理解と関心が高まり、購買意欲の向上が期待されます。 ・新たなレシピ開発とその利用により、県産農林水産物の活用促進につながります。	5,000	217票(6位)
7 農林水産部	外国人観光客の誘客につながる県産農林水産物の魅力発信事業	急成長するインバウンド需要を取り込み、農林水産物の活性化につなげるため、食に関心の高い外国人をターゲットとした食文化体験プログラムの開発や、外国人の来訪の多い飲食店等と連携した三重県フェアの開催、外国人インフルエンサーの活用など、外国人に対する効果的な“みえの食”の魅力発信事業を行います。	○インバウンド対応食文化体験プログラムの開発 ・地域の食関連事業者間の連携により、伝統的な漁法や伝統野菜、伝統工芸、伝統的な食文化など、文化遺産である「和食」をトータルで体験できる外国人向けの食文化体験プログラムを開発します。 ○インバウンド向けみえの食の魅力発信 ・外国人の来訪の多い飲食店等との連携により、外国語を併用したメニューブックの提供や、外国人インフルエンサーの活用による情報発信など、三重の食の魅力を伝える三重県フェアを開催します。	・農林漁業者や飲食店等、地域の食関連事業者間の連携により、インバウンドの受入体制が構築されることにより、次年度以降も継続して、インバウンド需要を取り込む効果が期待されます。 ・三重の食を核として外国人を誘客する取組事例が創出され、取組事例を横展開することにより、他の地域への波及効果が期待されます。 ・人口減少や高齢化により、国内観光客の減少が見込まれる中、三重の食資源を活用して、外国人観光客の受入が進むことにより、県内農林水産物の消費拡大と雇用創出を図る効果が期待されます。	5,000	82票(13位)
8 雇用経済部	三重の伝統工芸・食産業の魅力発信事業	三重の伝統工芸・食産業は、すばらしい技術・製品を持ちながらもマンパワーが不足し、特に伝統産業においては、後継者の不足が深刻です。そこで、小規模事業者でも参加可能で効果の高い魅力発信を実施するとともに、伝統産業の後継者確保に向けた取組を実施します。	○県産伝統工芸・食産業の魅力発信 ・ブランド力がある首都圏の百貨店等と連携し、EコマースやSNSを活用した新たな形で販路開拓を実施 ・首都圏在住の三重ファンによる魅力発信を促進 ○伝統産業の後継者確保支援 ・伝統工芸品をつくることの魅力を発信するとともに、職業体験を実施し就業につなげる。 ・将来の担い手となる子ども・若者向けに職人の働く姿やものづくりの魅力を伝えるイベントを実施。	・百貨店等のブランド力や三重ファンの発信力を活用し、人材不足の状況下でも多くの事業者が販路開拓に取り組むことができるようになります。 ・後継者不足が特に深刻な伝統産業への就業につなげるとともに、将来の職業の選択肢として意識する若者や子どもを増やします。	10,000	289票(3位)
9 県土整備部	建設体験フェスの実施による建設業魅力発信事業	災害対応など地域の守り手として重要な役割を担う建設業は就業者の減少など、労働者不足が懸念され、担い手確保に一層注力する必要があります。このため、将来の建設業を担う子どもたちを対象に、建設業の魅力伝える体験型イベント「建設体験フェスin三重」を実施し、担い手確保につなげます。	○建設体験フェスin三重 ・県立公園を利用し、「ミニショベルカーの運転」「ドローンによる測量」「コンクリート、木などを使った工作」など建設業の魅力を体験できるイベントの開催 ・イベント会場内で、建設関係団体によるブース出展や教育機関との連携によるイベントの実施	・イベントに会場した子どもたちや保護者の方に建設の仕事を知ってもらい、ものづくりの楽しさを体験してもらうとともにSNSを活用した情報発信を行うことにより、建設業の魅力を広げ周知します。 ・教育機関との連携により高校生とともにイベントを実施し、建設業を身近に感じてもらうことで、担い手確保につながります。	8,800	86票(12位)
10 警察本部	特殊詐欺等の被害防止を図るための情報発信事業	特殊詐欺等の現状や対策を周知し、被害防止を図るため、情報発信力の強化が求められているところ、三重県内のあらゆる場所で啓発できるような環境を整備し、発信力を強化します。	情報発信力の強化のための一媒体として可搬式のデジタルサイネージ(持ち運び用バッテリーを含む。)を整備し、警察署内に限らずに、あらゆる場所において視覚等に訴える広報啓発を行います。	新たな広報媒体を活用することで、県民への情報到達機会を拡大し、県民の行動変容を促すことで、この種犯罪の被害防止が期待できます。	3,762	226票(5位)
11 警察本部	SNS等を活用した中学生・高校生の自転車事故防止広報啓発事業	三重県内では、自転車の交通事故死傷者のうち約4割が高校生を含む子どもであり、その約9割が中学生・高校生であるため、中学生・高校生を対象とした自転車事故防止に関する動画をSNS等を活用して広報啓発することで、子どもの交通事故防止につながります。	自転車の交通ルール・乗車用ヘルメット着用促進のほか、自転車の交通反則通告制度(いわゆる青切符)の導入など、主に、中学生・高校生の観点から、自転車乗用時の交通事故防止を自分事として捉えられるよう、訴求力のある短時間動画をSNS等で配信します。	・次代を担う子どもの交通事故防止につながります。 ・本格的に交通社会に参加していくための準備段階にある中学生の交通安全に対する意識の高揚と、道路を通行する場合は、思いやりを持って、自己の安全のみならず他の人々の安全にも配慮する意識の醸成につながります。 ・自動車等の運転者として交通社会に参加できるようになる高校生の交通安全に対する意識の高揚と、交通社会の一員としての責任感の醸成につながります。	3,762	169票(8位)

12	警察本部	未来の警察官育成事業	<p>小中学生の「将来なりたい職業」では「警察官」が毎年上位に選ばれるにもかかわらず、三重県警察官の採用試験の受験者数は減少傾向にあることから、小中学生を対象にした警察官の職業体験を通じて、警察活動に対する理解の促進を図り、未来の警察官の育成につなげる事業とします。</p>	<p>○職業体験会を通じた啓発 ・制服の着用体験やパトカー、白バイ等特殊車両への試乗体験 ・鑑識活動や広報活動などの職業体験 ○警察音楽隊コンサートの開催を通じた啓発 ・三重県警察職員で構成する警察音楽隊のコンサートを通じた犯罪抑止、交通事故防止等の啓発（職業体験会と同時開催）</p>	<p>・警察活動への理解促進につなげます。 ・子どもたちの防犯意識等の高揚につなげます。 ・子どもたちの警察官という職業への興味を向上させることにより、将来の安全安心なまちづくりにつなげます。</p>	3,293	89票（11位）
13	教育委員会	不登校児童生徒の保護者を対象としたAIチャット相談モデル事業	<p>保護者が相談窓口等の情報を得られるプラットフォームを活用し、その一部として気兼ねなく相談できるAIチャットを導入するモデル事業を行います。</p>	<p>○AIチャット相談対応 ・不登校の相談窓口等の情報を案内します。 ・カウンセリングマインドを搭載したAIに相談することができます。 ○プラットフォームから各専門機関について紹介と案内</p>	<p>・不登校の傾向にある児童生徒の保護者の相談につなげます。 ・不登校の傾向にある児童生徒の保護者を支援し、適切な相談窓口を案内します。</p>	4,433	256票（4位）
14	教育委員会	地場産物活用・食育推進ワンストップパッケージ事業	<p>県内の学校給食実施校を対象に、地場産物の給食活用と実践的食育学習を一体的に支援するワンストップ型パッケージで、JA三重中央会や単位農協のネットワークを活用し、生産者紹介から学習支援、給食での実践、発信活動までを包括的に支援します。</p>	<p>○体験型食育パッケージの開発・運用 ・モデル校を対象に、地場産物購入費補助を行い、地場産物を活用した給食づくりを支援します。 ・JA三重中央会の協力を得て、生産者の選定・訪問・インタビューを円滑に実施します。 ・児童生徒が自ら献立作成に参加し、実際に給食を提供することで、学びの深化を図ります。また、その成果を校外に発信する活動も行います。 ○食材運搬費補助 ・小ロットの食材を専用トラックで運搬することは困難なため、生産者から給食調理場までの食材運搬に係る費用を補助します。 ○生産現場訪問・交通費補助 ・モデル校に対して、バス等移動に係る費用を補助し、生産現場への訪問を実現します。 ・訪問先との日程調整や学習プログラムの構築等については、県教育委員会やJA三重中央会など関係機関による支援も想定しています。 ○効果検証・事例集・全県展開 ・実施後は、児童生徒や教職員へのアンケート、ワークシート、活動レポートなどによって効果検証を行います。 ・優良事例をデータベース化し、全県での共有・普及活動を推進します。 ・市町教育委員会や関係者向けの研修会もしくは説明会も検討し、スムーズな普及・展開を支援していきます。</p>	<p>・児童生徒が、生産者への訪問やインタビュー、献立作成、給食提供、情報発信など一連の体験を通じて、地域の食材や食文化、SDGsや地域経済の視点も含めた食への理解を深め、地場産物を選ぶ理由や地域の特色、持続可能な食への関心について自ら考え、実際に行動する力が育まれます。 ・学級担任の新たな業務負担なく、栄養教諭や調理員などと役割分担・協力しながら取り組む体制が強化されることで、現場全体の連携や一体感が高まり、教職員や調理員の働きがいが向上します。 ・本事業を通して、子どもたちが地域の食材や生産の現場に直接ふれることで、家庭で地元の農産物や生産者について話す機会が増えます。また、こうした体験や学校からの発信をきっかけに、保護者や地域も地元の産業や食文化への関心が高まり、地域への愛着や一体感の醸成が期待されます。 ・県教育委員会、JA三重中央会、生産者が一体となった持続的かつ広域的な食育モデルが確立され、全県に好事例が波及することで、市町や学校間の格差が縮小されます。 ・「美し国みえ」ブランドの強化や地域経済の循環、SDGsの目標達成に寄与します。</p>	5,514	354票（1位）